

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数は増加傾向にあり、第34週では8.71でした。また、管内のインフルエンザ定点当たり報告数は低い値で推移しており、第34週では0となっています。（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）
- 管内の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第34週に5.25となり、週ごとの増減はありますが横ばいで推移しております。県内では施設等における感染性胃腸炎の集団発生報告が続いており、注意が必要です。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数が過去5年間と比較し高い値で推移しています。管内では第26週以降減少傾向にありましたが、第31週に再び増加しました。県内では4月24日付で流行警報が発令されており未だ例年より高い値で推移しているため、今後も動向に注意が必要です。

○ 主な感染症の定点当たり報告数

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		伝染性紅斑	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
30週 (7/21~7/27)	2.00	5.88	0.14	0.29	0.50	0.42	5.75	4.05	1.25	2.63	1.75	2.08
31週 (7/28~8/3)	3.14	7.40	0	0.12	0	0.32	5.75	4.82	2.00	3.00	3.00	2.45
32週 (8/4~8/10)	5.00	8.29	0	0.16	0.50	0.26	3.75	4.47	0.75	3.32	4.50	2.24
33週 (8/11~8/17)	4.29	10.87	0	0.19	0.75	0.36	3.00	2.11	0	1.92	2.50	1.28
34週 (8/18~8/24)	8.71	12.04	0	0.07	0	0.32	5.25	3.74	1.00	2.37	2.50	2.16

○ 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
30週 (7/21~7/27)	結核 1件			百日咳 32件
31週 (7/28~8/3)				百日咳 28件
32週 (8/4~8/10)				百日咳 18件
33週 (8/11~8/17)		腸管出血性大腸菌感染症 1件		百日咳 5件
34週 (8/18~8/24)				百日咳 14件

★ 茨城県感染症流行情報週報（2025年第34週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2025idwr34.pdf>

★ 茨城県感染症流行情報月報（2025年7月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2025mrp07.pdf>

★ 茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2025年6月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202506kensyutu.pdf>

★ インフルエンザ流行情報（2024-2025シーズン）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/2024-2025.html#gakkyuuheisa>

★ 茨城県感染症発生動向調査事業年報（2023年）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/2023nenpou.html>

#### 【新型コロナウイルス感染症について】

- 新型コロナウイルス感染症の定点あたりの報告数は、茨城県・全国でも増加傾向が続いています。
- 主な感染経路は、空中に浮遊するウイルスを含むエアロゾルを吸い込むこと（エアロゾル感染）、ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着すること（飛沫感染）、ウイルスを含む飛沫を直接触ったか、ウイルスが付着したものの表面を触った手指で露出した粘膜を触ること（接触感染）です。
- 感染予防には、「手洗い・手指消毒」、「換気」、「マスクの着用を含めた咳エチケット」などの基本的な感染対策が有効です。特に高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。高齢の方と会ったり、通院や大人数が集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染対策へのご協力をお願いします。

#### ★ 新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省HP）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

#### ★ 新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています（茨城県HP）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/kikaku/covid-19.html>

#### 【ダニ媒介感染症について】

- ダニ媒介感染症とは、病原体を保有するダニに刺されることによって起こる感染症のことで、中には死亡例が報告されているものもあります。人が野外作業や農作業、レジャー等で、これらのダニの生息場所に立ち入ると、ダニに刺されることがあります。ダニがウイルスや細菌などを保有している場合、刺された人が感染症を発症することがあるため注意が必要です。
- 茨城県内では、ヒトの刺症例が報告されているキチマダニ、ヤマアラシチマダニ、タカサゴキララマダニなどが広く生息していることがわかっています。生息場所は山林だけではなく、畑、公園、庭の草むらなど日常生活で出入りする身近な場所に生息している場合もあります。
- マダニに刺されないために、草むらなどマダニが多く生息する場所に立ち入る場合は、長袖・長ズボンを着用する等、肌の露出を少なくすることが重要です。マダニに刺されたら無理に取らず、医療機関（皮膚科）で処置（マダニの除去、洗浄など）を受けてください。

#### ★ ダニ媒介感染症に注意しましょう

[https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/tick-borne\\_disease.html](https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/tick-borne_disease.html)

#### ★ ダニ媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

#### ★ つつが虫病（国立健康危機管理研究機構HP）

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/Scrub-Typhus/010/tsutsugamushi.html>

#### ★ 日本紅斑熱（国立健康危機管理研究機構HP）

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ta/jsf/010/jsf-intro.html>

#### ★ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に注意しましょう

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/sfts.html>

#### ★ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（国立健康危機管理研究機構HP）

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/sa/sfts/index.html>